



## 2019年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



2019年4月4日

上場会社名 株式会社 トーセ  
 コード番号 4728 URL <https://www.tose.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 中川 尚樹  
 四半期報告書提出予定日 2019年4月12日 配当支払開始予定日 2019年5月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 075-342-2525

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年8月期第2四半期の連結業績(2018年9月1日～2019年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第2四半期	1,790	5.2	4		25	77.1	1	97.9
2018年8月期第2四半期	1,889	8.2	91		112	327.2	48	

(注) 包括利益 2019年8月期第2四半期 4百万円 ( %) 2018年8月期第2四半期 42百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第2四半期	0.13	
2018年8月期第2四半期	6.35	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第2四半期	6,907	5,803	83.7
2018年8月期	6,914	5,898	85.0

(参考) 自己資本 2019年8月期第2四半期 5,782百万円 2018年8月期 5,878百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期		12.50		12.50	25.00
2019年8月期		12.50			
2019年8月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,327	17.9	271	18.6	332	24.2	192	2.4	25.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期2Q	7,763,040 株	2018年8月期	7,763,040 株
期末自己株式数	2019年8月期2Q	182,880 株	2018年8月期	182,757 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年8月期2Q	7,580,237 株	2018年8月期2Q	7,580,403 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年4月18日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調が見られたものの、米中貿易摩擦の動向が世界経済に与える影響や中国経済の減速など、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、年末商戦を中心に「Nintendo Switch（ニンテンドースイッチ）」、「プレイステーション4」の販売が好調に推移するとともに、有力タイトルがミリオンセラーとなるなど、活況を呈しました。また、Google社がクラウドゲームプラットフォーム「STADIA（ステイディア）」を発表するなど、ゲーム市場の拡大に期待が高まる状況となりました。一方で、世界のモバイルゲーム市場は、2018年には市場規模が前年比103.4%の約7兆円に達する（「ファミ通モバイルゲーム白書2019」調べ）など、拡大傾向が継続しております。

このような状況のもと、当社グループでは、中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて、新たに策定した中期経営ビジョンに基づき、重点施策として3つの組織戦略と2つの事業戦略への取り組みを開始しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17億90百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、営業損失4百万円（前年同期は営業利益91百万円）、経常利益25百万円（前年同期比77.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円（前年同期比97.9%減）となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け2タイトル、パソコン向け3タイトル、スマートフォン向け6タイトルの合計11タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

#### ①デジタルエンタテインメント事業

当事業におきましては、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。製品別の内容は以下のとおりです。

ゲームソフト関連の売上は、「Nintendo Switch」向けの開発売上が伸長した結果、5億99百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、一部のスマートフォン向けゲームにおいてロイヤリティ売上が伸長したものの、前年同四半期に比べて運営売上が減少したことにより、9億87百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、規制強化の影響により引き続き厳しい受注環境が続くことが予想される中、適切な人員配置を行うべく、ゲームソフト関連やモバイルコンテンツ関連に多くの開発人員を投入した結果、44百万円（前年同期比79.6%減）となりました。

この結果、当事業の売上高は16億30百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益26百万円（前年同期比66.1%減）となりました。

#### ②その他事業

当事業におきましては、SI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業、コンサート事業やクレーンゲーム事業などの新規事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにてクレーンゲーム事業のロイヤリティ売上が好調に推移した結果、当事業の売上高は1億59百万円（前年同期比12.8%増）となったものの、当連結会計年度より開始したコンサート事業に係る費用が売上を大きく上回ったことから、営業損失31百万円（前年同期は営業利益12百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して7百万円減少し、69億7百万円となりました。資産の部におきましては、有価証券、仕掛品などが増加した一方で、現金及び預金、売掛金などが減少したことにより、流動資産が2億99百万円減少しております。また、投資有価証券などの増加により、固定資産が2億92百万円増加しております。

負債につきましては、未払法人税等、賞与引当金などが減少したものの、買掛金、前受金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して88百万円増加し、11億4百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことにより、前連結会計年度末と比較して95百万円減少し、58億3百万円となりました。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2億43百万円減少し、6億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、30百万円（前年同期は1億90百万円の資金獲得）となりました。主な内訳は、売上債権の減少額3億31百万円、前受金の増加額2億39百万円、減価償却費42百万円などの収入があった一方で、たな卸資産の増加額5億5百万円、法人税等の支払額1億37百万円などの支出があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億17百万円（前年同期は2億93百万円の資金使用）となりました。主な内訳は、定期預金の減少額2億40百万円などの収入があった一方で、投資有価証券の取得による支出3億2百万円、有形固定資産の取得による支出30百万円などの支出があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、94百万円（前年同期は95百万円の資金使用）となりました。これは、配当金の支払額94百万円などがあったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「2019年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」のとおり、2018年10月5日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,280,550	1,796,611
売掛金	886,291	554,816
有価証券	147,368	149,190
仕掛品	212,284	718,089
その他	66,337	74,434
貸倒引当金	△1,045	△1,065
流動資産合計	3,591,787	3,292,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,286,669	1,306,908
減価償却累計額	△704,679	△721,748
建物及び構築物(純額)	581,989	585,160
工具、器具及び備品	309,293	319,650
減価償却累計額	△276,694	△284,068
工具、器具及び備品(純額)	32,599	35,582
土地	709,565	709,565
その他	71,773	71,773
減価償却累計額	△56,460	△59,010
その他(純額)	15,312	12,762
有形固定資産合計	1,339,466	1,343,070
無形固定資産		
ソフトウェア	37,910	62,708
ソフトウェア仮勘定	17,226	—
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	57,271	64,843
投資その他の資産		
投資有価証券	694,028	993,848
退職給付に係る資産	24,475	24,860
繰延税金資産	64,450	42,158
投資不動産	714,847	720,708
減価償却累計額	△81,734	△86,466
投資不動産(純額)	633,112	634,242
その他	510,299	512,676
投資その他の資産合計	1,926,366	2,207,785
固定資産合計	3,323,103	3,615,699
資産合計	6,914,891	6,907,777

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	98,869	142,951
未払法人税等	152,366	17,655
前受金	76,572	316,287
賞与引当金	94,978	72,783
役員賞与引当金	—	8,400
その他	259,624	206,697
流動負債合計	682,411	764,775
固定負債		
役員退職慰労引当金	264,878	271,828
その他	68,757	67,657
固定負債合計	333,635	339,485
負債合計	1,016,047	1,104,261
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,773,377	3,679,632
自己株式	△173,009	△173,108
株主資本合計	5,880,552	5,786,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,510	△3,538
為替換算調整勘定	21,737	18,225
退職給付に係る調整累計額	△20,461	△18,603
その他の包括利益累計額合計	△2,234	△3,917
新株予約権	—	3,678
非支配株主持分	20,525	17,045
純資産合計	5,898,843	5,803,515
負債純資産合計	6,914,891	6,907,777

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
売上高	1,889,284	1,790,767
売上原価	1,367,925	1,329,161
売上総利益	521,359	461,606
販売費及び一般管理費	430,117	466,221
営業利益又は営業損失(△)	91,242	△4,615
営業外収益		
受取利息	4,797	3,687
受取配当金	2,846	3,393
投資有価証券評価益	2,666	239
不動産賃貸料	28,818	30,320
為替差益	—	6,990
雑収入	8,781	4,531
営業外収益合計	47,910	49,163
営業外費用		
支払利息	6	8
為替差損	6,914	—
投資有価証券償還損	2,483	—
不動産賃貸費用	17,608	18,808
雑損失	18	—
営業外費用合計	27,031	18,817
経常利益	112,120	25,730
特別利益		
固定資産売却益	1,195	—
投資有価証券償還益	3,135	—
特別利益合計	4,330	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,677
投資有価証券売却損	—	190
投資有価証券評価損	8,500	—
特別損失合計	8,500	1,868
税金等調整前四半期純利益	107,951	23,862
法人税、住民税及び事業税	38,756	4,847
法人税等調整額	20,686	21,485
法人税等合計	59,443	26,333
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,508	△2,471
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	394	△3,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,114	1,008

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,508	△2,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,641	△28
為替換算調整勘定	3,067	△3,511
退職給付に係る調整額	1,994	1,857
その他の包括利益合計	△5,580	△1,682
四半期包括利益	42,928	△4,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,534	△673
非支配株主に係る四半期包括利益	394	△3,480

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	107,951	23,862
減価償却費	38,417	42,353
株式報酬費用	—	3,678
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56,128	△22,195
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,145	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,950	6,950
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	4,551	2,291
受取利息及び受取配当金	△7,644	△7,081
支払利息	6	8
為替差損益(△は益)	8,581	△2,621
固定資産売却損益(△は益)	△1,195	—
固定資産除却損	—	1,677
投資有価証券売却損益(△は益)	—	190
投資有価証券償還損益(△は益)	△651	—
投資有価証券評価損益(△は益)	5,833	△239
売上債権の増減額(△は増加)	264,004	331,474
たな卸資産の増減額(△は増加)	△224,702	△505,805
前受金の増減額(△は減少)	85,132	239,715
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,670	44,081
その他	△16,810	△63,900
小計	210,771	94,439
利息及び配当金の受取額	7,486	5,576
利息の支払額	△6	△8
法人税等の還付額	—	7,067
法人税等の支払額	△27,562	△137,339
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>190,688</b>	<b>△30,264</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△110,000	240,000
有価証券の償還による収入	108,820	—
有形固定資産の取得による支出	△27,397	△30,394
有形固定資産の売却による収入	2,870	—
無形固定資産の取得による支出	△53,614	△17,385
投資有価証券の取得による支出	—	△302,172
投資有価証券の売却による収入	—	891
投資有価証券の償還による収入	112,970	—
投資不動産の取得による支出	△325,272	△7,235
その他	△2,254	△1,420
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△293,878</b>	<b>△117,716</b>

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△393	△98
配当金の支払額	△95,000	△94,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,394	△94,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,788	△966
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△204,372	△243,939
現金及び現金同等物の期首残高	1,306,532	920,550
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,102,159	676,611

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,747,651	141,633	1,889,284	—	1,889,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,185	19,025	32,211	△32,211	—
計	1,760,837	160,658	1,921,495	△32,211	1,889,284
セグメント利益	79,211	12,030	91,242	—	91,242

(注) 1 売上高の調整額△32,211千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,630,940	159,826	1,790,767	—	1,790,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,414	29,647	40,062	△40,062	—
計	1,641,355	189,474	1,830,829	△40,062	1,790,767
セグメント利益又は損失(△)	26,864	△31,479	△4,615	—	△4,615

(注)1 売上高の調整額△40,062千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、連結子会社であるTOSE PHILIPPINES, INC.の管理手法の変更に伴い、従前「その他事業」に含めて開示しておりました当該連結子会社を「デジタルエンタテインメント事業」に含めて開示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しております。